

あと1週間です



2学期もあと1週間となりました。

各学級、まとめの学習に入り、お楽しみ会等を計画している学級も出てきました。子どもたちも待望の冬休みをわくわくしながら毎日をカウントダウンしていることでしょう。

終わりよければすべてよし。最後まで気を引き締めて、あと1週間で過ごしてほしいと思います。

運動場の工事は順調です。

運動場の工事は敷地の整備は終わり、遊具を含めた周辺の工事に入っています。予定よりかなり順調に進んでいるようです。

この調子で行くと、1年半ばには運動場の使用が可能になりそうです。(学校の教育利用に関してのみですが)

現時点での考えでは、安全面が確保され、使用が可能になれば日課表を通常に戻します。学校で思いっきり遊べる日まで、あともう少しです。



遊具第1号として、鉄棒と一輪車乗り場ができました。冬休みの間に遊具やバスケットができるスペースもできる予定です。

今後の見通し

おかげさまで、2学期は予定していた行事は規模縮小こそありましたが、ほとんど実施できました。コロナ禍とは言え、ピリピリとした緊迫感のある中での学校生活は緩和されて、子どもたちにとっても良かったと思います。運動場改修による子どもたちのストレスも思ったほどは顕在化せず済みました。

今後はオミクロン株の動向に左右されることとなりますが、今のところ、3学期に予定している行事は全て行います。それでも、現時点では卒業式は在校生のいない卒業式になるかだろうと考えています。

どうぞこのままでと祈るのみです。

ちょっといい話

今日、朝の立哨後に玄関で待っている子がいました。その子は、昨日たまたま玄関で会って、傘を忘れたようなので、玄関の傘を貸しました。そのお礼に来たようです。

「昨日はありがとうございました」とはっきりとした声で述べました。近くにいた読み語りのバンブーの方の情報では、立哨から帰ってくる私をずっと待っていたそうです。

当たり前行動ではありますが、できる人はやはり素晴らしい。保護者の方の姿勢が垣間見えました。寒い朝でしたが、ほっこり心が温まりました。

雨天時はやはり心配です

昔、竹松小周辺は畑や田んぼがたくさんありました。私が住む黒丸町は人参畑がいっぱいありました。私の祖父は兼業農家でしたので、田植えや稲刈りなどのお手伝いをしたものです。そこが宅地になり、住む人が増え、もうずっと長い間、竹松小は長崎県でも有数の大規模校を続けています。

気になるのは校区の中に農水路や側溝があり、大雨の日など、登下校が心配です。特に、近年の想像を超える雨量は予測が付きません。学校でも気をつけて帰るように指導はしていますが、限界があります。各ご家庭でも通学路の危険地帯は把握されていると思いますが、改善されていない箇所所など、学校にお知らせいただけると、確認の上、行政にも相談することができます。通学路には国道をはじめとした交通量の多い道が多数あり、こちらも心配の種です。